

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改
	善	善

施設名	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成
法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	コロナ禍の中、法令や利用ルール、事業計画に則り、居宅において生活することが困難な高齢者を受け入れ、その方らしい生活が送れるように努めました。また、被虐待高齢者、生活困窮者などのセーフティネットとして随時受け入れました。また、利用者や家族の意思により地域へ帰るための支援を行いました。	A	居宅において生活が困難な高齢者を入所または短期入所として受け入れ、セーフティネット機能を果たしています。また、地域に戻られる方への支援を行うなど、適切な運営が行われています。	意見なし
利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	施設入所及び、特定施設サービス利用契約については、入所時に、本人、身元引受人、各市町職員立会いのもと十分に説明をしたうえで、適正に手続を行いました。	A	入所に関する説明を関係者立ち会いのもと実施するなど、適正な手続の実施に努めています。	意見なし
施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	B	措置依頼を受けている福祉事務所と日頃から連携、情報共有に努め入所要請を行いました。	B	措置施設のため利用者増加の取り組みは難しい中、関係機関等と連携を取り、ニーズに応じた支援ができるよう取り組んでいます。	意見なし
< 課題 >		新型コロナウイルス感染症が終息しない中、措置依頼を受けている市町と連携、情報共有に努めましたが、病気や転倒事故による長期入院などの退所者が多くなっています。		長期入院などによる退所に対し、新規入所が少なく、入所人数は近年減少傾向にあります。	養護を希望する方の減少はあると思うが、入所者の増加のため、アウトリーチや他市町の連携を行い稼働率を上げていくこと。
< 改善内容 >		市福祉事務所との連携を強化し、また、近隣の市町とも、引き続き連携に努め入所要請を行い、施設職員も地域の相談窓口となり、アウトリーチを行います。また、転倒事故防止のため個別支援計画の見直しと、福祉用具貸与の外部サービスの提供や、きんたくんいきいき百歳体操を実施しました。		市内及び近隣市町の関係機関等に積極的にアウトリーチを行い、新規入所の確保に努めるようお願いしています。	意見なし
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	身寄りがなく、経済的困窮にある高齢者や身体・知的・精神障がいを持つ高齢者がいきいきと自立した生活が送れるように支援しました。また、各市と連携し、被虐待高齢者などを受け入れました。	A	様々な背景を持つ入所者が増加する中、適切に対応し、入所につながられています。	意見なし
施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	B	毎年開催される湯山台自治会との共催の納涼盆おどり大会が中止となり、地元幼稚園との交流行事(七夕まつり)、満寿荘まつりなどの行事や、グルメツアー、買い物ツアーなどの外出行事などは、新型コロナウイルス感染防止対策のため自粛しました。	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、例年実施している地元自治会との共催行事や外出行事等はやむを得ず中止、自粛されました。	意見なし
< 課題 >		行事や外出の機会が、新型コロナウイルス感染防止対策のため自粛となりました。今後は新生活様式に沿った行事運営が必要になります。		新型コロナウイルス感染症の影響により、入所者の行事参加や外出の機会が減少しており、それによる心身状況の変化が懸念されます。	意見なし
< 改善内容 >		感染防止対策を実施し、縮小しながらできる範囲での行事の開催や代替え行事を実施しました。また、セブンイレブンの注文販売を、12月より訪問販売として再開しました。		引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底するとともに、今後は新様式に沿った行事等を企画、運営していく必要があります。	意見なし
(1-3) 利用者の満足度	A		A		(1-3) 利用者の満足度
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	B	入所者の楽しみとなっている、食事に関する嗜好調査を年1回実施しました。	B	嗜好調査を実施するなど、利用者の意見を確認する機会を設けています。	意見なし
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	嗜好調査の結果は、行事食や普段の食事のメニューや選択食に要望を取り入れ提供しました。	A	食事メニューの要望の反映が行われており、利用者の要望に沿うよう対応しています。	意見なし
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	意見箱だけでなく、支援員や相談員などが入所者から苦情・要望・相談を受け、その都度、迅速、適切に対応を行いました。	A	要望に対して即座に対応されるなど、適切に対応しています。	意見なし
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	月1回行事説明会にて、意見や希望を把握しています。また、全職員が入居者とのコミュニケーションの中から、意見や希望を聞き、可能な限り迅速に対応しました。	A	日々の業務の中で利用者からの要望を汲み取る等、常に意見の把握と反映に努められています。	意見なし
サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	買い物ツアーなどの外出行事や交流行事が、新型コロナウイルス感染防止のため実施できませんでした。代わりに行事食や選択食などを実施しました。セブンイレブンの訪問販売を12月より再開しました。全職員を対象とした全体会議を年2回実施し、サービスの質の向上に取り組まれました。	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行事等を中止、自粛せざるを得ない状況下でも、代替として行事食を実施するなど、サービスの質の向上に努められています。	意見なし
< 課題 >		行事や外出の機会が、新型コロナウイルス感染防止対策のため減少したこともあり、入所者同士のトラブルによる苦情がありました。		障害や認知症など入所者の特性の変化に伴い、その状況に応じた対応が求められます。また、新型コロナウイルス感染症防止対策で行事や外出の機会が減少しており、入所者のストレス増加が懸念されます。	トラブルに対し、適切に対応出来ている。
< 改善内容 >		入所者同士のトラブルによる苦情に対して、その都度、環境を見直し、入所者の話を十分に傾聴するなど、対応を行っています。代替えの行事や行事食、などを充実させて対応しています。また、おやつ注文販売を、12月より従来の訪問販売形式で再開しました。		個々の状況に応じた環境整備など、利用者に配慮した対応をお願いします。また、苦情や意見については入所者の声に耳を傾け、可能な限り対応をお願いします。	意見なし

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改

施設名	養護老人ホーム満寿荘	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分			評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	B		A	A				2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】
(2-1) 経費の節減	A		A	A				(2-1) 経費の節減
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	B	ボイラーやエアコンの運転時間を調整することで、使用量の縮減に努めました。また室内灯を順次LED化することで電力の削減を図りました。しかし、それを上回る物価高騰のため使用量は節減できませんでしたが、光熱水費は増加しました。	B	B	物価高騰の影響はありますが、経費削減のために計画的な取り組みは行えています。			意見なし
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	業務委託や修繕、物品購入については、原則、相見積を実施し経費が最小限となるように、安価な業者に委託契約や修繕等を依頼しました。	A	A	修繕、物品購入等において経費削減の観点から、安価な業者に委託や相見積もりなどを実施し、経費削減に努めています。			意見なし
< 課題 >		建物、設備の老朽化や経年劣化に伴い修繕箇所が多くなっています。また、小規模修繕(30万円以下)では、対応できない修繕も増加しています。			建設から35年以上が経過し、老朽化や経年劣化による修繕箇所の増加が今後も見込まれることから、計画的な修繕計画が必要となります。			意見なし
< 改善内容 >		建物管理委託業務等において、相見積を実施し、経費を最小限に抑えました。修繕についても、相見積もりをその都度実施し、経費が最小限になるよう努めています。小規模修繕で対応できない場合は、川西市と連携し修繕に努めます。			引き続き、経費削減に努めながら、計画的な修繕対応をお願いします。また、大規模修繕については必要に応じて市に報告をお願いします。			意見なし
(2-2) 収入の増加	A		A	A				(2-2) 収入の増加
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。	A	近隣の各市町においても連携をとり、被虐待高齢者など随時受け入れ、適切に対応しました。また、施設職員においても地域に出て、相談対応しました。	A	A	措置施設の特性上、限られた対応となる中で、体験入所や近隣市町への周知など、収入増に向けた取り組みを行っています。			意見なし
収入の増加など取り組みの効果は得られたか。	B	近隣の各市町に対して、入所要請や施設職員が地域に出て相談対応を行った結果、1人の入所がありました。病気、転倒事故による長期入院や施設入所、死亡による退所者数が8人となりました。	B	B	長期入院や施設入所、死亡による退所に対し、新規入所が少なく、入所人数は近年減少傾向にあります。			意見なし
< 課題 >		措置施設のため、近隣各市町に対して連携につとめ入所要請を行っていますが入所に繋がりにくいです。施設の構造上、多床室のため入所相談時に、個室を希望される方が増えており入所に繋がらないケースが増えています。			措置施設のため、入所者の増加を図ることは容易ではありませんが、各市町への広報や特定施設サービスの有効活用等を通じて、人員確保に努めてください。			全室個室化への工夫など、相談者のニーズに対応する方法を検討すること。
< 改善内容 >		福祉事務所や近隣の各市町と連携し、入所要請を継続すると共に、被虐待高齢者等の緊急ショートステイや体験ショートステイを随時受け入れ、適切に対応することで入所に繋がります。			施設の特性上、多くの新規利用者を受け入れることは難しい状況ですが、引き続き課題解消に努めてください。			意見なし
(2-3) 収支のバランスなど	B		B	B				(2-3) 収支のバランスなど
収支のバランスは、適切であったか。	C	入所者数が退所者数を大幅に下回り、延べ人数でも前年を下回り、減収となりました。	C	C	入所者の減少により、措置費収入が減収となり、指定管理料を増額することで収支均衡を保っています。			意見なし
費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。	A	事業費、事務費において業務委託・物品購入や修繕などを行う場合に相見積等を行い安価な業者に業務委託、修繕依頼や購入を行いました。	A	A	物品購入や相見積もりの実施など、より安価な出費になるよう、経費の削減に取り組んでいます。			意見なし
収支の内容に不適切な点はなかったか。	A	収入及び支出において適切に執行いたしました。	A	A	支出内容の確認や内部監査等により確認するなど、適切に管理しています。			意見なし
< 課題 >		高齢化や認知症、介護の重度化、転倒事故による長期入院や施設入所による退所を見込むことが難しく、措置市と連携し入所依頼をしていますが、措置費収入が減収となっています。			高齢化や認知症、介護の重度化により長期入院や対処となる入所者が増加する一方、新規入所者数は減少傾向にあり、措置費収入が減収となっています。			意見なし
< 改善内容 >		引き続き各市町村と連携し、ニーズのある方が適正なタイミングで入所できるよう迅速に対応します。転倒事故防止のため個別支援計画の見直しと、福祉用具貸与の外部サービスの提供や、きんたくんいきいき百歳体操を実施しました。			措置施設のため、入所者の増加を図ることは容易ではありませんが、引き続き他市町村との連携や広報、周知を行い、入所者の確保に努めてください。			近隣市町村との連携を行い入所者の確保に努めること。

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	含	要

施設名	養護老人ホーム満寿荘	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み(適正性)	A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み(適正性)			
(3-1) 管理運営の実施状況	A		A		(3-1) 管理運営の実施状況			
法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	B	施設の配置基準の人員は配置されていますが、入所者の体調不良や重度化等により、医療的ケアや介護量が増加しています。精神疾患に伴う問題行動や相談も増えており、職員の身体的、精神的な負担が増加しています。	B	法的な基準は満たしていますが、重度入所者の増加等により業務量が増え、職員の負担が大きくなっています。職員の健康管理にも配慮しながら、入所者へのケアが損なわれないよう運営する必要があります。	意見なし			
法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	研修会については、年間研修計画に基づき職員のスキルアップや対応能力の向上を図るためWEBを利用して可能な限り参加しました。	A	職員ごとに研修計画を策定し、職員の能力向上に努めています。	意見なし			
経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	B	節電や節水等に努めましたが、それを大幅に上回る物価高騰により光熱水費が増加しました。また、入所者や家族の意向に添った支援計画によるサービス提供を行い、新たに福祉用具貸与事業者と契約し、サービスの質の向上に努めました。	B	入所者や家族の要望を取り入れ、新たなサービス提供を開始するなど、満足度の向上に努めています。	意見なし			
施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	管理運営のためのマニュアルの整備、点検をし、マニュアルの標準化・見直しに努めています。また、地域共生社会実現のため、地域の相談窓口として身近で支える施設運営を進めています。	A	管理運営の点検、マニュアル整備等、必要な措置を講じています。	意見なし			
< 課題 >		精神疾患のある入所者や高齢化による医療機関への通院介助が増え、服薬管理が必要な入所者も増加しています。施設設備の老朽化や経年劣化による修繕箇所が増えています。また、居住棟、中棟は畳ベッドで居室の中にトイレがなく、段差もあるため使用できる入所者が限られています。居室の洋室化の検討が必要です。		重度の入所者が増え、職員の業務が増大している。入所者のケアに不足がないように適切な運営に努めるとともに、職員の健康管理にも配慮が必要である。また、居住棟の洋室化については、重度者を優先的に洋室へ入所する等の配慮が必要です。	市との協議を行い、可能な範囲でバリアフリー化を行い、入所者へのケアを継続すること。			
< 改善内容 >		入所者の健康及び快適な入居生活の確保のため、新たに福祉用具貸与の外部サービスの導入と職員の負担軽減のため配置職員の維持が必要です。突発的な修繕に対しても迅速に対応しておりますが、計画的な修繕及び居室の洋室化が必要です。		利用者にとって満足度が得られる施設運営を図るため、適正な人員配置を検討すること。また、施設の老朽化に伴い様々な修繕が必要となるが、今後も優先順位を付けて市と協議を行うことが必要です。	意見なし			
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など			
法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	法令に沿った適正な事業を行い、法人内部監査を実施しました。また、介護保険事業においては、指導監査に係るチェックリストを提出し、県の実地指導に基づき適正に法令を順守しています。	A	県指導官における実地指導や、法令遵守の観点から内部監査を実施するなど、チェック体制をとっています。	意見なし			
施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	入所者の個人情報管理はもとより、緊急ショート利用者に対しても厳重な個人情報保護と安全対策を行っています。	A	緊急ショートの利用者を含めて、厳重な個人情報管理体制を敷いています。	意見なし			
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	月1回、防火自主点検を実施し入所者の安全確保に努めています。また、建物の老朽化が進んでいるため、設備に不具合がないか随時点検し、可能な限り迅速に対応し事故防止に努めています。また、入居者の高齢化と新型コロナウイルス感染症防止対策により地域交流の中止や自粛、外出の制限を実施したことで、入所者の身体機能が低下し転倒事故が多く発生したため、介護保険課指導のもと個別支援計画の見直しと、新たに福祉用具貸与の外部サービスやきんたくんいきいき百歳体操を提供することで、転倒事故の防止に努めました。	A	老朽化に伴う設備点検や自主的な防災点検など安全に対する意識の徹底が行われています。また、個々の身体機能に合わせて入所者の支援方法の見直しを行う等、事故防止への取り組みが行われています。	意見なし			
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	作成している災害対策マニュアル、防犯マニュアルを再度確認しました。防犯カメラを設置し危機管理体制を強化しています。	A	災害、防犯マニュアルの再確認を行うなど、適切な危機管理体制をとっており、適切に対処しています。	意見なし			
事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	事故対応及び災害対策マニュアルを作成し適切な対応ができるようにしています。年2回(日中・夜間)の火災を想定した避難訓練を実施しています。転倒事故が多く発生したため、救急搬送依頼時のフローチャート等を整備しました。	A	対応マニュアルの整備、周知とともに訓練を実施し、非常時に対応する体制を整えています。	意見なし			
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。		非該当						
利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平かつ適切に実施したか。	A	措置入所施設のため入所者の選定は、措置者である各市町が入所判定委員会を設置し、公平かつ適切に実施されています。	A	各措置権者が適切に入所判定を実施しています。	意見なし			
< 課題 >		日常の事故防止などの安全対策に努めておりますが、入所者の高齢化や重度化により、施設のハード面(スロープ、中棟居室内段差)の対応が必要です。		入所者の高齢化や重度化により、施設のハード面に不具合が出ており、バリアフリー化の検討が必要と考えます。	意見なし			
< 改善内容 >		転倒や誤嚥防止のために、筋力トレーニング・きんたくんいきいき百歳体操や食事前の嚥下体操を実施し、事故防止に努めています。防犯カメラを設置し、安全対策を強化しています。		引き続き、転倒事故や誤嚥防止のためのトレーニングや体操を実施してください。	住環境でトイレが無い、多床室、段差がある等から転倒事故のリスクを招くこととなるので、市との協議のうえ改善を行い、稼働率の向上に努めること。			

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改

施設名	養護老人ホーム満寿荘	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価ランク	A			A		
・評価できる内容	<p>物価が高騰するなか、ボイラーやエアコンの運転時間を時期により調整することで経費の増加を抑制しました。被虐待高齢者や生活困窮者のセーフティネットとして、市や地域包括支援センター等と連携し、ショートステイや入所を受け入れました。</p> <p>防犯カメラ利用により防犯及び事故防止対策を強化しました。</p> <p>4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染対策の徹底とワクチン接種を入所者及び職員に実施したことにより、施設入所者に感染は出ませんでした。</p>		<p>物価高騰の影響を受ける中、機器の運転時間を調整するなど、経費削減に取り組んでいます。</p> <p>また、被虐待者や生活困窮者のセーフティネットとしての機能を果たしつつ、利用者の要望に沿った適切な対応がとれています。</p> <p>防犯・安全対策としては、職員の目の行き届かないところへの防犯カメラの設置や各種マニュアルの作成・管理、感染症拡大防止など、危機管理に対する取り組みを行いました。</p>		意見なし	
・令和4年度に改善した内容	<p>施設の老朽化に伴う修繕を随時行い、利用者の負担にならないよう安全な環境の整備を行いました。</p> <p>定期的なマニュアルの再整備と新型コロナウイルス予防マニュアルの見直しをおこないました。</p> <p>入居者の高齢化と新型コロナウイルス感染防止対策により地域交流の中止や自粛、外出の制限を実施したこと、入所者の身体機能が低下し転倒事故が多く発生したため、介護保険課指導のもと個別支援計画の見直しと、新たに福祉用具貸与の外部サービスを提供しました。</p>		<p>利用者に配慮しながら随時修繕を行うなど、安全な施設整備に努めた他、個々の身体機能に合わせて支援計画の見直しを行いました。</p> <p>また、感染症対策委員会を適宜開催するなど、新型コロナウイルス感染予防対策を実施し、感染予防に努めました。</p>		意見なし	
・令和4年度に改善したことによる効果	<p>令和4年度においても、新型コロナウイルス感染予防対策を実施し、利用者から陽性者を出すことなく、未然にクラスターを防止しました。</p> <p>関係機関と連携し、成年後見制度の利用を促進し、入居者の権利擁護に努めました。</p> <p>また、入所者の転倒事故が多く発生したため、介護保険課の指導のもと個別支援計画の見直しと、きんたくんいきき百歳体操や福祉用具貸与の外部サービス提供することで転倒事故が減少しました。</p>		<p>新型コロナウイルス感染予防対策を実施し、クラスターを発生させることなく、感染予防に努めました。</p> <p>また、入所者の身体機能保持のために支援計画の見直しや外部サービスの提供などにより転倒事故の予防にも努めました。</p>		意見なし	
・問題があり次年度以降改善が必要な点	<p>コロナ禍において、福祉避難所開設・運営の訓練ができていません。また、スプリンクラー用の非常電源は設置していますが、災害時や災害後の非常電源の確保ができていません。災害時用非常電源の設置や電気調理機器等の調達方法など、具体的な検討が必要です。</p> <p>施設設備の老朽化と経年劣化により空調設備の不具合が続いているため、熱吸収式冷温水発生機及びファンコイルユニットの交換が必要です。</p>		<p>重度の入所者が増え、職員の業務は増大しています。入所者のケアに不足がないよう適切な運営に努めるとともに、職員の健康管理にも配慮が必要です。</p> <p>また、施設の全体的な老朽化、入所者の高齢化が進んでいるため、計画的な修繕について検討する必要があります。</p>		<p>安全管理上、必要な工事や修繕については、入所者の健康面も考慮して整備すること。</p>	
・改善方法とその時期	<p>大規模な修繕工事となるため、優先順位を考えて計画的に市と協議していくことが必要と思われる。</p>		<p>修繕工事については、優先順位を付け、計画的に市との協議を進める必要があります。</p>		意見なし	

【記入上の留意点】

- 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただけますようお願いいたします。
- 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。